

日本 GAP 協会公認研修機関の皆様へ

2020年3月24日

日本 GAP 協会

新型コロナウイルス感染症拡大期における研修の実施について

政府は3月19日の専門家会議の結果を受けて3月20日に第21回新型コロナウイルス感染症対策本部を開催しました。これ等を通じ、コロナウイルスの感染リスク度合いに地域性がある事の指摘や、爆発的な感染拡大には進んでいないとして学校再開の動きとなった一方、オーバーシュートとなる危険性が未だに存在している事、また「換気が悪く、多くの人が密集し、近距離での会話や発声が行われるという3つの条件が同時に重なるような場を避ける行動を依頼する」旨の首相発言がありました。

当協会として公認研修機関の皆様におかれましては、研修の実施の是非につき、中止・延期・規模縮小等も念頭に、引続き慎重な検討をお願いします。尚、開催される際には、下記の感染対策を含む十分な対応策をとっていただくことをお願いします。

主催者（会場）側の感染・衛生対策

- 研修参加予定者に対し良好な健康状態を参加条件とする旨の事前通知を行う事
- 参加者の座席について前後左右、十分な距離を確保し、近距離での会話を避ける事
- 当日の参加者の検温の実施
- 入口に手指の消毒液を設置し、手指の十分な洗浄に加え使用を促す事
- 運営スタッフのマスク着用。受講者にもマスク持参、着用を依頼する事
- 研修開始時に、講師の渡航歴・体調について報告する事
- 会場のこまめな換気を行う事

主催者として参加者に促す感染・衛生への配慮

- 発熱や体調不良等の風邪の症状がある場合の参加見合わせ
- 検温の受診
- マスクの着用、近距離での会話の回避
- 入口での手指消毒
- 咳エチケットと頻繁な手洗い

以上